

事務事業名	中心市街地活性化推進事業		所属部	産業観光部	所属課	商工振興課
総合計画体系	政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉		所属G	地域産業支援G	課長名 安部 哲男
	施策名	(37)商工業の振興		担当者名	小林 旭	電話番号:0854-40-1052 (内線) 2392
	目的・対象	商工業事業所(者)	意図	経営の安定・強化を図り、雇用を拡大する。		
	基本事業	(110)地元購買の喚起と活性化		予 算 科 目	0:1:3:5:0:2 0:5:1:0:0:5	大事業名 商工振興総務管理事業 中事業名 中心市街地活性化推進事業
目的・対象	市内事業者	意図	売上を伸ばす。			

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
雲南市民 市内商業事業者	市外に流出している購買力の流れを止めるとともに、市外に移住する人口の流れを止め、宿泊客(交流人口)の流出を止めることを目指す
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返( 年度 ~ ) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( H27 年度 ~ R4 年度 )	計画している中心市街地活性化は、市外に流出している購買力の流れを止めるとともに、市外に移住する人口の流れを止め、宿泊客(交流人口)の流出を止めることを目指すため、商業振興・定住促進・交流促進に繋がる各種施策を展開する。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
中心市街地活性化基本計画に掲げる事業推進のため、雲南市中心市街地活性化協議会に対して支援を行った。また新型コロナウイルス感染症拡大等により、延期された「ホテル整備」については、早期オープンに向けて引き続き働き掛けを行った。	民間事業の核事業であるホテル誘致について、市・商工会・まちづくり会社が一体となって、誘致活動を進めている。コトリエット運営についても、市・商工会・まちづくり会社が有機的に連携し、事業を推進している。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(計画)
ア 中心市街地エリア内人口	人	1,965	1,983	1,940	2,094
イ まめなカー市の年間入込客数	人	1,974	0	1,832	10,000
ウ 中心市街地エリア内新規出店	事業者	9	3	3	3
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)	② コストの推移	単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)
負担金(協議会) 21,000千円	財源内訳	国庫支出金	千円			5,284
		県支出金	千円			
		地方債	千円	37,900		
		その他	千円	26,000		
		一般財源	千円	35,294	23,000	21,000
	事業費計	千円	99,194	23,000	21,000	26,452

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	コロナ禍の中でイベント等の開催もままならなかったが、コトリエットのテナントが連携し、親子イベント、2周年記念イベントの他、まちづくり協議会によるイベントや商工会によるまめなカー市も2年ぶりに開催することができ、中心市街地活性化基本計画に掲げる賑わいの創出につながった。
② 事業実施するうえでの課題	中心市街地活性化基本計画の認定を受けることで、定住人口の流出・購買力の流出・交流人口の流出の課題を一定程度解決できる手段であり、市の商業振興を推進していく上で重要な事務事業である。
③ 課題解決に向けた改革改善等	新型コロナウイルス感染症拡大により、ホテル建設が未着手であり、早期着手に向けて引き続き要望を行っていく。また、新型コロナの収束の見えない中ではあるが、まちづくり会社が自立的・持続的に運営できるようにテナント運営、誘致に対する支援を行う。